

議会報告会報告書

令和8年2月16日

小田原市議会議長
井上昌彦様

報告者 議会広報広聴常任委員長
栗畑寿一朗

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日時	令和7年11月14日（金曜日）午前9時10分～午前11時30分			
場所	小田原市役所 議場			
出席者	大川晋作	中野正幸	稲永朝美	北森明日香
	井上昌彦	清水隆男		
参加人数	57名（下中小学校6年生児童53名、担任教諭4名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

【質疑】 議員報酬はいくらですか。

【回答】 一般議員 46 万、副議長は一般議員のプラス 5 万、議長は一般議員のプラス 10 万です。

【質疑】 野生動物対策は、どんなことがありますか。

【回答】 猪、鹿の捕獲に報酬を出しています。

【質疑】 小田原市の予算は、どれくらいですか。

【回答】 R 7 年度 約 2170 億円、一般会計約 800 億円、企業会計約 580 億円、特別会計約 800 億円です。

【質疑】 防災対策は、どんなことをやっていますか。

【回答】 広域避難所で（食物、トイレ等）を増やす。

【質疑】 これからの小田原をどうやって発展させていく予定ですか。

【回答】 地域の特徴を生かす。地元で働けるようにして外から人を迎え入れる。

【質疑】 小田原の少子化はどの程度進んでいるのですか。

【回答】 小学校は 1 学年、1 クラスや 2 クラスが当たり前ですが、30 年前は 4 クラスが当たり前でした。今は 1000 人も生まれません。

【質疑】 少子高齢化対策は、どんなことをやっているのですか。

【回答】 小田原市の少子高齢化対策はまちづくり、子育て支援、高齢者支援の 3 本柱で進めています。子育て支援では給食の無償化や高齢者はタクシー利用券の助成などしています。

【質疑】 小田原城は、いつ建ったのですか。

【回答】 昭和 31 年にリニューアルしました。予算は 8000 万円でした。

【質疑】 どうやって人口を増やしていくのですか。

【回答】 子育て世代の支援を充実させる。交通、防災、子育てなど魅力的なまちづくりが大切だと思います。

【質疑】 議員として、やりがいを感じや大変だと思うことはありますか。

【回答】 議会の中で様々な意見を言ったり、質問をして、小田原市のために少しでも良くなった時にやりがいを感じる。大事なことは、市民の代表である議員も色んな意見を持っているので、それをまとめて、進めていくのが大変です。

【質疑】 小田原市の予算は、どれくらいですか。

【回答】 R 7 年度の当初予算は総額 2,171 億円。皆さんの生活に直結するような一般会計予算は 788 億円。市税のしおりがわかりやすいので見てほしい。

【質疑】 市議会員のやりがいを教えて下さい。

【回答】 若い世代や女性など、これまで議会に届かたなかった声を届けられこと。